

記入例

秋田県特別栽培農産物栽培実績書（生産者別）

※登録済みの方は記入して下さい。

※申請者登録番号

〇〇中〇〇〇〇

生産者				確認責任者記入欄				※検査員記入欄			
生産者番号	氏名		責任者現地確認日		責任者実績確認日		圃場検査年		現地検査年月日		
002	秋田 公太郎		R7/8/1		R7/8/20						

生産ほ場 (所在地) (ほ場番号)	項目	内容	作業内容		使用資材				特別栽培 期 間 前作の収穫後 から収穫まで	
			作業名	時期	施肥・土づくり等		病害虫・雑草防除			
					資材名	注1 使用量	使用時期 (月日)	農薬名		使用時期 (月日)
秋田市山王 〇〇-〇 (ほ場1) 秋田市山王 〇〇-〇 (ほ場2) 秋田市山王 〇〇-〇 (ほ場3)	農産物名	米	基肥散布	3月20日	堆肥	500kg	3/15	10a当たりの施用量を記載します。	R6 年 9 月	
			種子予措	〃					から	
	作型	—	播種	4月10日	苗箱まかせ	390g	4/10	タチガレエースM粉剤	R7 年 9 月	
			育苗	4月10日～5月15日						
	注4 認証区分	④	耕起	4月25日	苗箱処理の場合、1箱当たりの施用量を記載します。必ず左下の欄に10a当たりの苗箱使用数を記入して下さい。				予想収量	
			代掻き	5月10日					全収穫量	
			田植え	5月15日						
	栽培面積	30 a	除草剤散布	5月25日				ピラクロンフロアブル	5/25	2,000 kg
			機械・手取除草	6月中～7月下旬						10a当収量
	航空防除実施地域に該当か	看板設置箇所数	1 箇所	稲刈り	9月20日					660 kg
☐ 該当 ☒ 非該当	種苗入手前の農薬処理 ☒ なし ☐ あり								全出荷量	
10a当り苗箱使用枚数 (水稻のみ)	※ありの場合農薬成分名記入 ・ ・								1,800 kg	
25 枚									10a出荷量	
									600 kg	

注1) 使用量の欄は、希釈倍率、重量比、1箱当たりの使用量を記入して下さい。

注2) 農産物、作型及び認証区分が異なる場合は、別葉として下さい。

注3) 認証区分 ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料5割以上減

③節減対象農薬5割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減

(様式第10号別添) ～ 使用資材の内容

1. 農 薬 (種苗入手前の処理がある場合は、下記欄にも記入して下さい。)

農薬商品名・剤型	購入先 (TEL)	製造会社名 (TEL)	成分名	%	使用量 (10a当り)	使用時期	注使用目的
タチガレエースM・粉剤	JA〇〇(018-000-0000)	三井化学アグロ(株)	ヒドロキシイソキサゾール	4.0	6g/箱	4月10日	殺菌
		(03-5290-2757)	メタラキシルM	0.25		月 日	
ピラクロン・フロアブル	JA〇〇(018-000-0000)	協友アグリ(株)	ピラクロニル	3.6	500ml/10a	5月25日	除草
		(03-3663-7947)				月 日	
						月 日	
						月 日	
						月 日	
						月 日	
						月 日	
						月 日	
使用農薬数	2	種類	認証基準で定める成分回数	10	回以内	使用成分回数 計	3 回

2. 肥料、土壌改良資材及び堆肥等 (育苗段階から記入して下さい。)

資 材 名	購 入 先 (TEL)	製 造 会 社 名 (TEL)	成 分 %		使 用 量 /10a	使用時期 (月日)	窒素成分量 (kg/10a)	うち化学合成 窒素成分量 (kg/10a)
苗箱まかせ	JA〇〇 (018-000-0000)	ジェイカムアグリ(株) (022-225-2775)	N 40.0 P K		9.75kg	4 月 10 日	3.9	3.9
			その他					
			N P K			月 日		
			その他					
			N P K			月 日		
			その他					
			N P K			月 日		
			その他					
			N P K			月 日		
			その他					
			認証基準で定める化学合成窒素量 4 kg/10a以内			化学合成窒素成分量 計 3.9 kg/10a		

3. その他資材

資 材 名	購 入 先 (TEL)	製 造 会 社 名 (TEL)	成 分 %	使 用 量 /10a	使用時期 (月日)	使用目的
					月 日	
					月 日	
					月 日	
					月 日	
					月 日	
					月 日	

注) 1 及び 2 以外の目的で使用したもの。

4. 自家製造資材の原料・製造方法

資材名	原料名	原料使用量	製造方法	使 用 量 /10a	使用時期 (月日)	使用目的
堆肥	稲わら 牛糞	500kg 100kg	堆肥舎で切り返し 1 年間	500kg	3 月 15 日 ～ 3 月 25 日	土づくり
					月 日 ～ 月 日	
					月 日 ～ 月 日	

注 2) 資材は、前作の収穫終了後から使用したものを記載して下さい。

秋田県特別栽培農産物認証票使用実績書

令和 年 月 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒 010-0000

申請者 住 所 秋田市山王〇〇―〇

電 話 番 号 018(000)0000

集 団 名 有限会社 山王ファーム

氏 名 秋田 公太郎



※自筆またはメールで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 1 6 条の規定により、次のとおり認証票の使用実績を報告します。

○ 規格別使用数量及び繰越数量

特別栽培期間 6 年 10 月 10 日 ~ 7 年 10 月 10 日

農産物名 (作型)	注) 認 証 区 分	使用した認証票の規格及び数量等 (枚)					
		認証票形態	シール			印刷	計
		規 格	大	中	小		
米 (一)	④	前年産在庫数(a)		100			100
		本年産購入数(b)		100			100
		本年産使用数(c)		192			192
		次年産への繰越数 ((a+b)-c)		8			8
		前年産在庫数(a)					
		本年産購入数(b)					
		本年産使用数(c)					
		次年産への繰越数 ((a+b)-c)					

注) 認証区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

精 米 出 荷 ・ 販 売 実 績 書

精米申請者名		精米確認者名		確 認 年 月 日		仕入先認証申請者名 (登録番号)				
秋田公太郎		秋田公二郎		7 年 11 月 1 日		(有)山王ファーム 秋田公太郎 (〇〇中〇〇〇〇)				
				8 年 2 月 10 日						
注2) 認証区分		④	産 地	秋田市	品 種	あきたこまち	産 年	R7		
年月日	玄 米 残数量 (kg)	玄米 買受 数量 (kg)	玄米 使用 数量 (kg)	精米 生産 数量 (kg)	量目別生産数量(個)				認 証 票 使用枚数 (規格及び 印刷、印刷 の別等)	備 考 (出荷先)
					15kg 包装 (個)	10kg 包装 (個)	5kg 包装 (個)	計 (個)		
R7. 10. 30	14,400	0	2,880	2,592		240	38	278	278	JA〇〇
R7. 12. 1	11,520	0	2,880	2,592		240	39	279	279	JA〇〇
R8. 1. 20	8,640	0	2,880	2,592		240	38	278	278	JA〇〇
R8. 2. 20	5,760	0	2,880	2,592		240	39	279	279	JA〇〇
R8. 3. 20	2,880	0	2,880	2,592		240	38	278	278	JA〇〇
合計	0	0	14,400	12,960		1,200	192	1,392	1,392	

注 1) 玄米の認証区分、産地、品種、産年が異なるごとに別葉としてください。

注 2) 認証区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
 ③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

秋田県特別栽培農産物認証票使用実績報告書

令和 年 月 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒 010-0000

申請者 住 所 秋田市山王〇〇―〇

電 話 番 号 018(000)0000

集 団 名 有限会社 山王ファーム

氏 名 秋田 公太郎



※自筆またはメールで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 2 0 条の規定により、次のとおり認証票の使用実績を報告します。

○ 規格別使用数量及び繰越数量

精 米 期 間 7 年 10 月 30 日 ~ 8 年 3 月 20 日

農産物名 (作型)	注) 認 証 区 分	使用した認証票の規格及び数量等 (枚)					
		認証票形態	シール			印刷	計
		規 格	大	中	小		
米 (一)	④	前年産在庫数(a)		200			200
		本年産購入数(b)		1200			1200
		本年産使用数(c)		1392			1392
		次年産への繰越数 ((a+b)-c)		8			8
		前年産在庫数(a)					
		本年産購入数(b)					
		本年産使用数(c)					
		次年産への繰越数 ((a+b)-c)					

注) 認証区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

※申請者登録番号	〇〇中〇〇〇〇
----------	---------

秋田県特別栽培農産物等認証変更申請書

令和 2 年 8 月 3 0 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒 010-0000

申請者 住 所 秋田市山王〇〇―〇
電 話 番 号 018(000)0000
集 団 名 有限会社 山王ファーム
氏 名 秋田 公太郎



※自筆またはメールで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 2 1 条第 1 項の規定により、関係書類を添えて申請します。

(農産物の場合)

1. 変更対象生産者等

生産者 登録番号	生産者名	農産物名 (作 型)	※農薬等 使用区分	圃 場 登録番号	変更する事項	
					変更前	変更後
〇〇中〇 〇〇〇― 0 0 3	秋田 公太郎	米 (―)	④	1, 2	認証区分 ③	認証区分 ④

※①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

(精米の場合)

1. 変更対象精米業者等

精米業者 登録番号	精米業者名	精米区分	精米施設 登録番号	変更する事項	
				変更前	変更後

2. 変更する理由

カメムシ類の異常発生があり、追加防除を行い、農薬の使用基準を越えたため

注) 関係する資料を添付して下さい。

※申請者登録番号	〇〇中〇〇〇〇
----------	---------

秋田県特別栽培農産物等認証中止届

令和 2 年 6 月 3 0 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒 010-0000

申請者 住 所 秋田市山王〇〇―〇
電 話 番 号 018(000)0000
集 団 名 有限会社 山王ファーム
氏 名 秋田 公太郎



※自筆またはメールで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 2 1 条第 2 項の規定により、特別栽培農産物の
認証を中止したいので、関係書類を添えて届出します。

(農産物の場合)

1. 中止対象生産者等

生 産 者 登録番号	生 産 者 名	農産物名 (作 型)	※農薬等 使用区分	圃 場 登録番号	認証中止の理由
〇〇中〇 〇〇〇― 0 0 3	秋田 公太郎	米 (一)	④	1, 2	農薬及び化学肥料の使用量が認証基準を 越えたため

※①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

(精米の場合)

2. 中止対象精米業者等

精米業者 登録番号	精米業者名	精米区分	精米施設 登録番号	認証中止の理由

注) 関係する資料を添付して下さい。